

# *GOVERNOR'S MONTHLY LETTER*

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



**Rotary**

2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉憲哉

2019. 12

Vol. **6**



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ  
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

本明川上流の  
水面は静まりかえり  
立ち枯れの葦辺は  
水鳥たちのねぐらに  
冬の訪れも近い

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
ロータリー研究会&ロータリー財団地域セミナー報告	3
地区大会御礼	5
青少年に関する危機管理	6
IA前期指導者研修会報告	7
4地区合同長崎くんちツアー報告	8
R財団グローバル補助金事業報告	9
米山の集い報告	10
ガバナー公式訪問クラブ報告	11
会員数・出席報告	17
新会員・寄付者紹介・文庫通信 [379]	18
国際大会のご案内	20
マダガスカル通信Vol.6	21
危機管理ポスター	22
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

## Governor's message



## 地区大会を終えて

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

今月8、9、10日は第2740地区の地区大会でした。まずは多数のロータリアンや市民の参加に感謝申し上げます。

今年の地区大会は例年と違い、新しい試みをいたしました。地区目標がチャレンジ（変化、活性化、つなぐ、伝える）でした「チャレンジ」は全国の地区レベルに少しでも追いつこうという主旨です。

新しい試みは次のとおりです。

- ① 国際ロータリー会長代理を招聘しないこと。
- ② 地区大会を例年の地区大会のコピー＆ペーストはやめる。ただし、基本は守ること。
- ③ 例年にないパネルディスカッションをすること。
- ④ 全会員をはじめ、他地区からの来賓、パストガバナー、ガバナー補佐、ロータリアンに大会参加の喜びを感じて頂くこと。
- ⑤ 地区大会が研修と親睦の場であること。
- ⑥ ホストクラブの皆さんのワンチームを達成すること。
- ⑦ エクスカーションで長崎・諫早・鳥原を堪能していただくこと。
- ⑧ 災害被災地にどのように向き合うか、行動するかということ。
- ⑨ 昨年実施されたハワイへの短期留学生の発表を実現できたこと。

などでした。

課題も多く残りました。

- ① 会長代理を招聘しないことは一つのinspireを失うこと。
- ② パネルディスカッションの内容を充実させるためには討論時間が不足していた事と内容の充実。
- ③ インターアクト、青少年交換学生、米山記念奨学生、ローターアクト、ローテックスについてプログラムを組むこと。
- ④ 佐賀・長崎であるから、平和・歴史など地区の特徴をプログラムに入れること。
- ⑤ 地元団体（商工会議所、ライオンズクラブ、国際交流協会、ソロプチミスト、社会福祉協議会など）との交流・連携プログラム。
- ⑥ 国内外の姉妹クラブの招待。
- ⑦ 財団、青少年、米山委員会の活動報告。
- ⑧ ガバナーとして大会をワンチームで運営してくれたスタッフへの感謝をどのように表現したらよいか？

今年は既存のプログラムを大きく変えました。パネルディスカッションの目的はアンケート調査で56クラブの問題点が明らかにされましたので、その対策を構築することです。今回の地区大会がそのきっかけとなれば幸いです。また、外部のガバナーの意見を拝聴できたことは貴重な経験となりました。オープニングから終了まで新しい試みをしたために、スタッフが最後までうまくいくか？ 心配しました。でも多数の会員の皆様が熱心に拝聴していただきました。そして考えて頂きました。皆様には地区大会に参加された意義があった事と思います。そして懇親会も盛会となりました。ロータリーは「まず、親睦」が実現したことはとてもうれしいことでした。

**追伸）お願い；**ガバナー事務所あてに大会出席の皆様の感想や反省点や批判等、是非お聞かせください。無記名でも結構です。



## ロータリー研究会&ロータリー財団地域セミナー報告

ガバナー 千葉 憲 哉

神戸ポートピアホテルで2019年11月16日から19日まで開催されました。例年、R財団委員長・委員、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーを集めて、研究会が開催されます。R I会長マーク・マローニー、TRF管理委員長ゲーリー・CKホアン委員長も出席し、ロータリー財団の現況と補助金、奨学生、VTT、ロータリー平和フェローについての説明と質疑応答。次いでロータリー研究会ではGETSと同時にロータリー財団現況、ポリオプラスの現況、R I会長指名委員会報告、次いで、日本財団報告、米山奨学会報告、ロータリー文庫、ロータリー100周年編集委員会と実行委員会報告、2019年規定審議会報告、第15回日韓親善会議（仙台開催）報告、第7回日台親善会議案内（福岡開催予定）が主なスケジュールでした。他にガバナー会、RLIの会議が開催されました。

特筆すべき話題について説明します。

①2021年-2022年R I会長「シュカール・メータ」氏（インド）が選出された。

②ガバナー会での協議事項

(1) 災害について

佐賀県の豪雨災害への多額の寄付金の配分方法は「地区ガバナーへ一存する。」

ガバナー会として「配分方法や基金設立は行わない。」

新しく決まったロータリー補助金（DDF、グローバル補助金）の利用の災害補助金については現在、基金はゼロ円なので使用できない。1回2万5千ドル、何度も追加請求可能。DDFの繰越金の転用は不可。

(2) ロータリー100周年記念事業（神田明神施設のロータリークラブの例会使用）に会員一人1000円集める事にガバナー会として34人全員反対決議

(理由)

東京RCの100周年と日本のロータリー100年祝賀とは区別すべき。

オリンピック開催時期に全国のクラブからわざわざ東京まで来て高い旅費と高い宿泊費を払ってまで東京で例会を開催するクラブは無い。東京都内のクラブしか使用しないであろう。

災害が続いている中、義援金为先であり、1000円も負担することに地方の会員は同意しない。

③2019年度規定審議会について

CEOの解釈が日本と米国は異なる。

ローターアクト年齢制限なしへ変更

日本は職業奉仕、フランスは環境問題、インドはロータリー役職ルールなど国によってロータリーへの期待度や要望が異なる。

ビジョン声明が変わる可能性はある。4つの優先項目について5年間は継続する。例会の大切さの解釈は米国と日本は異なる。

R Iからの発信された情報はどの段階でも会員に通知してよい。My Rotaryを丹念に開いてほしい。

④ローターアクトについて

1) ローターアクトの加入年齢の30才までの年齢制限が無くなったこと。(11月19日R I決定)

R Iはyoung adultという言葉を使い、高齢者には使っていない。また、ロータリー会員がローターアクトへの移籍は認めない。

人頭分担金等詳細は未決定。R Iにローターアクトの問題についてタスクフォースが設立された。

ローターアクトや衛星クラブ結成において親クラブ以外に協力クラブを複数持つてよい。

2) 3人のローターアクトの会員のプレゼンがあり、要望が出された。

会社会員と学生会員（米国は大学のローターアクトがほとんど）の2種類、目的が異なるが、学生

の場合は次につながる方法を模索してほしい。

会社会員は「ロータリー会員の会社から会員」を出してほしい。

「ローターアクトとロータリー会員とのコミュニケーション」を頻回にしてほしい。

R I の情報をローターアクトにも開示してほしい。

公務員のローターアクトが、「地方活性化の試みを若いローターアクトが地域に入り組むことにローターアクトである喜びと達成感を覚えることを結成時に広めてほしい。」と強調。

I Mなどに協力したいが、会場整理ではなく、討論などに参加したい。

#### ⑤ R L I について

R L I は「活性化」が目的。地区予算0円から140万円まで様々。

24地区加盟、予定4地区。未加入10地区

日本支部委員長 北清治

事務局は第2750地区 事務局長 猿渡昌盛、委員 高田修

ホームページ作成、会員の研修のデータベース化来年7月開始。

問題点)

ディスカッション・リーダーの養成が急務。

10年かかって、普及と養成が実施されている。

その他に事務員機能充実、データベース化が試みられている。

研修はI、II、IIIステージへと研修が実施され、その後、修了書授与まで

歴史)

国際Rの常設プログラムにはまだなっていない。

1992年スタート

2002年規定審議会にプログラム申請した。

10年間推移を見て評価される。

2013年規定審議会でも多地区合同プログラムとして公認された。

2014年R I 会長コメントが出された。現在、米山記念奨学会と同じレベルである。

#### 第2740地区の方針

多地区合同プログラムに、リーダー（会長幹事、地区委員長、新人）を10名ずつ定期的に参加研修させる。自費扱い。地区会議の方式をファシリテーションを用いて会議する。

2～3年かけてディスカッション・リーダーを養成し、その後加入を検討する。

理由) 実施地区でも、なかなかディスカッション・リーダーが育たないのが現状である。本格的に内容が習得される必要がある。

最近はロータリー哲学を教える新人教育がなされていないのが現状である。ロータリーの良さが古参会員は理解しているが、新人が習得することなく、ライオンズとロータリーの区別さえわからない新入会員が多い。(小船井修一、釧路RC)

◎新人教育の場が必要で、退会を防止するにはR L I が必須と考えられる。

#### その他

第2回九州ガバナー会開催12月4日 議題①ライラ開催について ②第7回日台親善大会福岡開催協力について

ローターアクトクラブ設立協力（アドバイス）

R L I 設立準備協力（研修参加）



## 地区大会開催の御礼

地区大会実行委員長 **池田 榮雄** (諫早北RC)

このたび、令和改元後初めてのR I 第2740地区 地区大会が晩秋の諫早の地で開催されることとなりました。ホストクラブである諫早北クラブは、第8グループのコ・ホストクラブのご協力のもと年余に亘り準備を進めてまいりましたが、地区内外の温かいご支援により、当地区大会を開催することができました。

その上、佐賀・長崎両県に亘る地区内56クラブの会員の皆様多数のご参加に加え地区内外よりガバナー・パストガバナーご夫妻のご参加を得て、11/8、9、10の3日間、盛会のうちに、滞りなく無事に終了いたしましたことに心より御礼を申し上げます。

初日の危機管理セミナーでは、「若者よ輝け！ されば世界は君と共に輝く」のテーマで第2660地区高槻西RC近藤真道氏のご講演の中で、ロータリーの青少年交換留学生対応の実例を挙げて、セクハラ問題につき言及し警鐘を鳴らされました。

夕方からの歓迎晩餐会では、今回R I 会長代理の招聘はありませんでしたが、地区内外ガバナーの令夫人・令嬢を交え160余名のご参加のもと和やかな中に大きな盛り上がりが見られました。

中日の11月9日、午前中のエクスカッションでは市内「天祐寺」(諫早家菩提寺) 見学、青少年の集い、大会4委員会が催され、午後は参加クラブ映像紹介に続き、本会議第1部では、点鐘のあと来賓挨拶、千葉憲哉地区ガバナーの挨拶と続き、ガバナーは今回R I 会長代理を招聘しなかった理由を述べ、R I 会長ご本人による、本大会への動画メッセージを会場で紹介され、参加者全員がマローニー会長のメッセージを共有することができました。

第2部では、人気タレント、ケント・ギルバート氏が記念講演で「素晴らしい国・日本に告ぐ」の表題で熱く語られ、含蓄と示唆に富んだ内容に一般参加の市民と共に全員が一様に深い感銘を受けました。

最後は各種表彰に続き、ガバナーエレクト花島光喜氏の紹介、ノミニー塚崎寛氏の紹介とご両人の挨拶、決意表明の後、ロータリーソング斉唱と点鐘で無事閉会となりました。

夜の大懇親会は800名近い参加者で、会場あふれんばかりの盛会、時を忘れての歓談の後、別れを惜しみつつ次期大会の主催者花島ガバナーエレクトの万歳三唱によって、散会となりました。

大会最終日は、いよいよ恒例の記念ゴルフ大会。天候晴・うす曇、風なしの最高のゴルフコンディション。朝7時半ショットガン方式で全18ホールから一斉にスタート。

午後1時半には、全員がほぼ一斉にホールアウトし、表彰式が行われ、ゴルフ部実行委員が精力的に集めた豪華景品を巡って表彰式でもバトルが交わされ、和気あいあいの内にお開きとなり再会を誓い合って解散となりました。

最後に、当地区大会への惜しめないご理解とご協力とを頂いた当地区ロータリアンの皆様ならびに関係者各位に、深甚なる謝意と心からの御礼を申し上げます。

この度は誠に有難うございました。

## 青少年に関する危機管理

危機管理委員会 委員長 栗林英雄 (諫早北RC)

第2740地区、2019～2020年度の地区大会が11月8日から3日間にわたり、諫早市にて開催された。初日の8日には歓迎晩餐会に先立ち、ロータリーにおける危機管理セミナーが開催されて、各クラブの会長、幹事、地区役員が聴講することとなった。講師は第2660地区高槻西RCの近藤真道氏で、青少年交換留学について長年の経験豊富、指導力抜群で貴重な講演が期待された。

ロータリーは世界の恒久平和を最大の目標に掲げており、その目的遂行のためにローターアクト、インターアクト、RYLA、交換留学生、米山奨学生など若い世代の人たちをそのプロジェクトに参加させているため、時として思わぬ事態が生じることがある。そこで当日は青少年に関する危機管理が主題となった。冒頭、Shine! and the World shine with You 「若者よ輝け！ されば世界は君と共に輝く」という言葉がスクリーンに弾んだ。若者が交換留学によって異国の文化に触れ、そこで見聞した有形無形の財産がやがて本人の努力によって開花し、両国の友好親善の懸け橋となり、ひいては世界平和に貢献するわけである。そのよい例として紹介されたのが、嘗ての留学生の一人、ポーランド出身のアントーニ・スロドコフスキー氏が優秀なジャーナリストに授与されるピューリッツァー賞を受賞したというのである。これなどは好個の例であろうが、現実には必ずしもそうではない。

中にはそのような資質に欠けたものもいて、いろいろな問題を引き起こしており、危機管理という備えが不可欠となってきたのである。

それはどのような場合だろうか。

- ホームシック、ホストファミリーとの不和、環境への不適応
- 交通事故に巻き込まれる
- 自然災害に遭遇する
- 薬物、異性との交遊

などが紹介されたが、重要な案件として挙げられたのが性的虐待、セクハラ被害に遭っているのである。

特にロータリアンとの直接的な被害は、訴訟ということに発展すればロータリーにとっては社会的にも苦境に立たされる。これに対するRIの姿勢は被害状況を隠蔽せず、すぐに通報して第三者にゆだねることを提唱する。高い職業倫理観を有するロータリアンがこの種のトラブルに関与したとなればRIの名誉失墜となるので、即座に身分はく奪である。従って常にロータリアンは誠実、高潔、高い倫理性を保つ心がけを求められる。

留学生を「わが子として思う」思いやり、愛情、慈悲が青少年をこれらの恥ずべき事態から救い、ひとりの人間として育てていく。

この事態を回避するため「青少年のためのハラスメント相談窓口」メール・アドレス anytime@ri2660.gr.jp を来日して早い時点で、本人に通知、周知徹底させておき、少しでもそれらしい問題が生じた際には相談窓口へ通報するよう、その指導教育を推奨している。

裏表紙内に危機管理ポスターを掲載しているので、お忘れなくご活用ください。



## 「インターアクト前期指導者研修会」報告

インターアクト委員会 委員長 徳川清隆 (唐津RC)

「インターアクト前期指導者研修会」が2019年10月12日(土) インターアクターと顧問の先生、ローターアクターとロータリアンの参加で開催しました。

この研修会では、ロータリーの5大奉仕部門である青少年奉仕について理解する目的で開催しております。併せて、インターアクターのリーダーシップの養成へ繋がるような研修でもあります。

大石竜基地区幹事の点鐘で開会、来賓挨拶を頂きました。

第1部「インターアクトをもっと知ろう!」として、参加校の代表者による活動発表を行い佐世保高専 IAC、唐津西 IAC の事例発表をさせていただきました。

また、今回はローターアクト委員長の高松茂信委員長をはじめ地区ローターアクト代表堀山幸平さん他ローターアクト関係者5名の参加を頂きました。

地区代表の堀山幸平さんからローターアクトの活動事例を頂きました。その中で、会員増強の話に触れた際、同じロータリー青少年ファミリーとしてインターアクトからローターアクトへ繋がるよう、インターアクターへ理解を求められました。

第2部では、「海洋ごみとプラスチック」と題し、NPO法人環境カウンセリング協会長崎 理事 矢野博巳氏による基調講演を頂きました。矢野氏は対馬の漂着ごみをきっかけに漂着ごみ問題にかかわられ環境省の環境カウンセラーに登録されておられます。

今回の講演を拝聴し、参加者の多くは、海洋ごみ問題が現実的に悪化していることが理解でき、地球環境への意識が一層高まったと思います。

その後、長崎女子商業高校インターアクトクラブの皆さんによる問題提起の発表がなされ、第3部のグループディスカッションに進んでいきました。

グループディスカッションでは、基調講演を聴いての感想を発表、海洋ごみとプラスチックの問題について対策や問題解決への取組み、実際の活動への取組みを模索して頂きました。

最後に、グループディスカッションのまとめとして3グループの代表者が発表を行い、松田地区副幹事の総評を頂き、研修会の終了となりました。

ご参加頂いた皆様、ご支援頂きました方々に感謝しご報告いたします。



## 九州4地区合同青少年交換学生 長崎旅行(くんちツアー)

国際青少年交換委員会 委員 梅本 國和 (長崎RC)

去る10月7日から8日、2740地区国際青少年交換委員会は、九州内の2700地区、2720地区及び2730地区と合同で、各地区内の国際交換留学生21名を招いて、長崎旅行(くんちツアー)を実施しました。

初日お昼前、集合場所のJR長崎駅前には、鹿児島、宮崎方面から4名、福岡方面から11名、そして佐賀、長崎方面から6名の留学生が続々と集まり、改札口付近は国際色豊かな高校生たちで活況を呈しました。それから一行は、市内大浦のみらく苑で昼食をとりました。学生たちは、中華料理を楽しみながら、各人の留学生活についての情報を交換して会話を弾ませました。

それからホテルにチェックインした後、長崎原爆資料館に行きました。学生たちは、神妙な面持ちで、原子爆弾が人、街、物にもたらした甚大な被害を記録する写真、展示物を丁寧に見学し、原子爆弾の恐ろしさと平和の大切さを学びました。

資料館見学後、原爆落下中心地に行きました。皆は「まさにこの場所に、上空から原子爆弾が落下し、多大な被害をもたらしたのだ。」と想像しました。

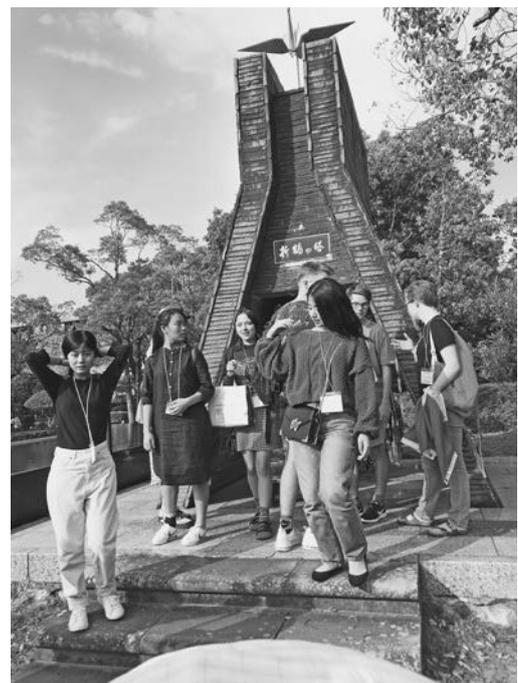
それから平和公園に行き、平和の泉、各国から贈呈された彫刻、そして平和祈念像を見学し、この日のために折って来た千羽鶴を、平和祈念像横の折り鶴の塔内にかけて国際平和を祈念しました。

快晴の青空の下、平和公園の穏やかさをしばらく味わった後、一行はおくんちの会場の一つである中央公園に移動しました。本年の演し物は、今博多町の「本踊」、魚の町の「川船」、玉園町の「獅子踊」、江戸町の「オランダ船」、籠町の「龍踊」でした。学生たちは、3時間、会場と一体となって、華麗な踊り、力強い船回し、勇壮な龍踊等を熱心に鑑賞しました。

おくんち見学後は、長崎西洋館内かがりやで懇親会を開催しました。会には千葉ガバナー、大石地区幹事にもご出席頂き、総勢38名が参加しました。千葉ガバナーからは、学生たちに、流ちょうな英語での熱いメッセージも頂きました。皆は、和食、しゃぶしゃぶ料理を楽しみながら、一層の懇親を深めました。

懇親会后、学生たちは樋口地区委員のマイクロバスで稲佐山に移動し、世界新3大夜景に認定された、稲佐山から長崎港を見下ろす夜景を満喫しました。

2日目は、早朝にホテルをチェックアウトした後、マイクロバスでハウステンボスに行きました。入場後はそれぞれが自由行動で園内を楽しみ、午後3時に出口にて解散し、全行程を終えました。





## ロータリー財団 補助金事業（ネパール）

地区R財団委員 隅 康 二（佐賀西RC）

低所得国は、日本のような高所得国とは異なり、今なお感染症が死につながる重篤な疾患です。特に水の設備不足、知識不足の問題から重篤な下痢性疾患に罹ってしまうことが多く、地震や洪水等で被災すると夥しい数の命が失われてしまう状況にあります。水と衛生の問題は国連のSDGs（2015）でよく知られるようになりましたが、世界規模での最重要課題の一つと認識されており、国際ロータリーでは2013年より重点分野と位置付けて力を注いでいます。

第2740地区にネパールが大地震（2015）で被災した後も、復旧の目処が立たない地区が散在しているという情報が入ってきたのは2017年のことでした。財団委員会では、災害復興支援の一助となるべく、特に水と衛生の問題に焦点をあてて取り組みを始めました。

当地区の元奨学生である片岡一生氏の縁故を通じて、ネパールのPatan Durbar Square RC（PDSRC）より情報を入手し、2018年に現地調査に赴き、R財団本部に調査結果と事業計画を添えて補助金を申請しました。リバイズの繰り返しは半年に及びましたが、資金の80%を設備工事、20%を教育事業の費用とする事業計画にて本部より91,875ドルの資金使用の許可がありました。

設備は2020年3月頃の完成に向けて工事を順次進めています。設備の完成に先立っての教育事業を、9月21日より1週間、ネパールのDhading地区およびLalitpur地区における6つの学校において実施しました。クラブ単位で行う支援例は他にも見られますが、地区を単位として行う支援例は殆どなく、在ネパール日本大使にもお越し頂くなど比較的大きな規模での教育事業を行うことができました。

教育の目的としては、

1. 学校がその地区の水と衛生問題の改善、向上をリードする拠点となること
2. 大規模災害の折には復旧の中心的役割を担うことができるようにすること
3. 教育を受けた子ども達（生徒達）が地域の人々を啓発する小さな“先生”になってもらうこと、

この3点を掲げました。

教育の内容としては、

1. 2740地区にて学校の先生向けテキストの作製を行うこと
2. ネパールの各学校を訪問し、直接先生方への講義を行うこと
3. 先生方とロータリー会員が一緒になって生徒、保護者、地域住民の皆さんとともにワークショップを行うこと、

この3点をミッションとしました。

Dhading地区は首都Kathmanduから遠く、道路状況が悪い山岳地域にあるため、Jana Shakuti Schoolに生徒、先生、地域住民の皆さんに多く参加協力して頂いてワークショップを行いました。Lalitpur地区は5つの学校校区から生徒、先生、地域住民の皆さんにKhokanaという野原にバスで参集して頂き、一堂に会して数百人規模でのワークショップを行いました。衛生教育は薬剤師である吉岡義治氏（佐賀南RC）がリードし、化学実験、講義、爪切りなどの衛生習慣、石鹸を用いた手洗いの方法等、1日かけてワークショップを行いました。

ネパールでは異なる学校の生徒がお互いに交流を行うということはめったになく、生徒たちは当初緊張した面持ちでしたが、講義を受けたり、遊んだりしているうちに最後は全員が大きな輪になって、「Reshama firiri」というネパールの代表的民謡を全員で合唱するなど思い出深く、しかも教育としては大変効果的な事業ができたことと思います。

その夜は日本大使公邸にて晩餐会が開催されました。千葉憲哉ガバナーからの書簡をお渡しし、大使からは「日本国政府を代表して、第2740地区の事業に感謝を申し上げます」という答礼を頂きました。

世界の最貧国ネパールは、決して安全が保証されているわけではなく、私たちにふりかかる病気や事故など不安もありましたが、現地のロータリアンの友情に支えられながら計画通りにプロジェクトを達成することができました。

\* 今回の教育プログラムへの参加者は以下の通りでした。

大村RCから西川義文氏、佐賀西RCから堤貞喜氏、円田稔氏、佐賀南RCから古川尋美氏、吉岡義治氏、神埼RCから西村明美氏、R財団関係者として片岡一生氏、隅康二の8名でチームを編成し現地に臨みました。またこの企画、運営の全段階においてPatan Durbar Square Rotary Clubの関係者約40名にご協力頂きました。

## 「米山の集い」報告

米山記念奨学委員会 委員 大川 正二郎 (佐賀北R C)

去る10月6日(日)、諫早商工会議所において米山記念奨学委員会の主催で「米山の集い」が開催されました。「米山の集い」は、10月の米山月間を迎えるにあたり、本年4月からの上半期を振り返り、また、今後下半期に向けて勉学だけでなく出前卓話等の活動にも頑張ろうというもので、千葉憲哉ガバナー等の来賓を迎えて、米山記念奨学生、カウンセラー、大学関係者、地区委員等約40名が参加しました。

集いでは、DVD「世界へ届け米山の懸け橋」で各地の米山記念奨学生のロータリアンとの交流やカウンセラーとの絆、元米山記念奨学生の母国での活躍等が紹介され、米山記念奨学事業や地区の状況、学友会についての説明がなされました。また、全員で記念撮影をした後は、お弁当を食べながらの親睦会が開催されました。

親睦会では、奨学生や担当カウンセラー、大学関係者の報告や挨拶が行われました。奨学生は、各所属クラブでの例会への出席等の活動や奨学生になって学んだこと、ロータリアンへの感謝、これからの勉学や奨学生としての活動の誓い等を述べました。また、カウンセラーからは、奨学生との交流の様子が紹介され、カウンセラー自身にとっても勉強になったと感想を述べられていました。大学関係者からは、米山記念奨学事業に対する期待が寄せられました。

和気あいあいとした秋の1日でした。





## ガバナー公式訪問クラブ報告



**島原RC** 8月6日(火)

会長 小嶺 嘉浩 幹事 吉田 清隆

島原ロータリークラブは、昭和39年（1964年）、長崎ロータリークラブをスポンサークラブとして会員30名で結成されました。現在会員数は31名、毎週火曜日お昼にホテル南風楼で例会を開催しています。

クラブのモットーは、「ロータリーはどこまでも楽しく」です。大きな歌声で始まり、笑顔と笑いの絶えない例会運営、様々な行事も常に楽しんで参加できるようにいろんな仕掛けを会員が作っています。

クラブの自慢は、RACとIACを提唱していることです。RACは前年度年次大会で最優秀クラブ賞、IACは4年連続で地域貢献部門金賞をいただきました。各会員が、積極的に例会に参加し、ともに汗を流し活動してきた結果だと自負しています。

これからも、会員全員で心をつなげて一人でも多くの仲間を募り、地域に貢献できるように活動してまいりたいと思います。

最後になりましたが、日頃から親身になって指導いただく比良孝蔵ガバナー補佐に会員一同感謝申し上げます。



**佐世保RC** 8月21日(水)

会長 木村 公康 幹事 有蘭 良太

千葉憲哉ガバナー、法師山真人ガバナー補佐、大石竜基地区幹事を迎えて公式訪問例会を開催致しました。

例会前の懇談会では、昨年実施した会員満足度アンケートの調査報告を受けました。評価については良好でしたが、アンケート不参加が半数を超えており、活性化に後向きでありました。これらのアドバイスは今後のクラブ運営に大いに役に立つものになりました。

昨年度は福田金治ガバナーを輩出し、2018年11月16・17日には地区大会の開催、海上自衛隊艦艇見学、海上自衛隊音楽演奏会を行いました。又、記念事業として健全な青少年の育成のため、ハワイ短期留学プログラムで14名の高校生を派遣しました。

佐世保RCは1951年2月21日に創立され、来年度はクラブ創立70周年を迎えます。本年度は準備委員会を設け、佐世保RCにふさわしい式典、記念事業を行いたいと思います。そのためにも、会員相互の親睦を深め、友情を育む事で魅力あるクラブとなるよう努力してまいりたいと思います。



国際ロータリー第2740地区2019～2020年度 千葉憲哉ガバナー公式訪問 2019年8月21日 於 佐世保玉屋

## ガバナー公式訪問クラブ報告



福江RC 8月23日(金)

会長 柳田 靖夫 幹事 片山 雅文

8月23日(金)午後12:30よりカンパーナホテルにおいて、千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、松田洋一地区副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、当クラブの会長、副会長、会長エレクト、幹事と、千葉ガバナー、浦ガバナー補佐、大石地区幹事、松田地区副幹事との事前協議では、活発な意見交換がなされ、予定より15分ほど前倒しで協議を行って良かったと思ったほどでした。例会時の千葉ガバナーの卓話は、スライドを用いて地区の活動方針を詳しくかつ分かりやすく説明して頂きました。

例年だとガバナーは、世界中のガバナーが集まる会合の話やRIの活動方針を説明されますが、千葉ガバナーはあえてRIの方針には一切ふれず、地区の方針のみを強調されたことに共感し、感銘を受けました。

また夜の懇親会では、酒を酌み交わしながら、ロータリーの柱である「奉仕」について、千葉ガバナーからわかりやすく説明して頂き、「親睦」を深めながら勉強になった有意義な懇親会でした。

さて、当クラブでは会員35名で活動しています。観月会、観桜会では奥様方も参加され、「親睦」を深める場として重要な行事となっており、また各種団体の3名の代表で争う“愛のチャリティー歌のコンサート”に毎年参加し、3名の歌手だけでなく当クラブ一丸となって、優勝めざし練習に参加し絆を深めています。

また青少年奉仕活動として中学生野球大会を主催したり、英語教科の学力向上の為に教材を援助し、毎年その教材からの早押しクイズ大会にも参加しています。

今後さらに会員増強に努め、「奉仕」と「親睦」を追求し、福江ロータリークラブの発展に努力していく所存です。



福江中央RC 8月23日(金)

会長 杉 秀宣 幹事 本間 一義

8月23日(金)、午後6時30分より観光ビルはたなかにおいて千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事、松田洋一地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、浦ガバナー補佐と福江中央RC理事とのクラブアッセンブリーを行い(8月6日のガバナー補佐訪問が台風の影響により中止になった為)その後、千葉ガバナーとの懇談会にて当クラブの長所、問題点を千葉ガバナーよりご指導頂き、我々からの質問に有意義なアドバイスを頂きました。例会時の千葉ガバナーの卓話はアンケート結果からわかる当クラブの現状及び問題点等を笑いを交えご説明頂き、時間が足りないくらいの内容でした。例会終了後はお泊りである事を幸いに福江RCさんと合同で千葉ガバナー御一行と懇親会を開催し、酒を交えながら交流を深めるとともに、例会時には語られていなかった千葉ガバナーのロータリーに対するお考えをお聞きすることが出来ました。お疲れのところを長時間お付き合い頂き誠にありがとうございました。

当クラブは今年度45周年を迎えます。千葉ガバナーからお褒め頂いた少人数クラブの良さを基に「会員の親睦」と「奉仕活動」を充実させ、福江ロータリークラブとの交流、意見交換を活発に行い、五島内でのロータリークラブのイメージアップ及び会員増強に努め、次なる50周年に向けて活動して参りたいと思います。以上、ガバナー公式訪問クラブ報告と致します。



親睦活動(観桜会)



奉仕活動(五島高校インターアクトクラブと合同での清掃)

## ガバナー公式訪問クラブ報告



**佐賀大和RC 9月10日(火)**

会長 川浪 正大 幹事 内田 早美

9月10日(火)千葉憲哉ガバナー、白石公太郎ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇談会においては、予定より早く到着されたこともあり、多くの時間を費やして頂きましたが、クラブごとに作成された資料をお持ち頂いたことに、大変感動いたしました。

資料に基づいてご指導を頂戴し、当クラブについての理解をより深められたと思います。

また、クラブの親睦の深さをお褒め頂いたことについては、大変光栄でございました。

例会の卓話の中では、ロータリーの創設から始まるロータリアンとしての哲学について改めてご教示頂きました。特に職業奉仕の考え方、捉え方については新たな発見をすることができました。会員においても大変感銘を受けておりました。

今後も会員間の親睦を深め、会員増強に努めるとともに、奉仕の理念のもと活動していく所存でございます。千葉ガバナーはじめ、御来訪いただいた役員様に感謝の念をこめ、厚く御礼申し上げます。



**佐世保中央RC 9月12日(木)**

会長 南部 建 幹事 田中 啓輔

令和元年9月12日(木)、セントラルホテル佐世保において、千葉憲哉ガバナー・大石竜基地区幹事・岡田金助ガバナー補佐が当クラブを訪問されました。

例会に先立ちまして、当クラブの南部会長・田中幹事・池永会長エレクトとの懇談会があり、職場訪問について「クラブのメンバーが、自身の職業を通じて社会貢献をする所を見学すること」が本来の職場訪問の目的であって、単なる社会科見学になっていないかなど、御指摘をいくつか頂きました。

一方、当クラブには長期的な視野でクラブの方向性を探求していくための「クラブビジョン委員会」というものがありますが、他のクラブでは見られない独自性のある取組みとして高く評価して頂きました。



他にも、当クラブには、ゴルフやダイビング、温泉旅行などの同好会的な集まりがあり、チャーターメンバーから入会歴の浅いメンバーまで幅広い人たちが一緒に親睦を深めており、今後も親睦を通じてクラブの活性化と退会防止につなげていきたいと思っております。

## ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀南RC 9月17日(火)

会長 古川 尋美 幹事 嘉村 幸彦

本年9月17日千葉憲哉ガバナー、山崎唯之ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

ガバナーを交えた懇談会におきましては先般、会員から回収したアンケートを基に、ガバナーより当クラブに対して外部から見た適切なるアドバイスを頂きました。

更に例会時におきましても、ROTARYの根本的なお話やサステイナブルなROTARYにするにはという内容も、アンケートを交えてお話し頂き、今後の指針とすべく会員一丸となってROTARY活動に邁進したいと思っていました。

最後にご訪問頂きました千葉ガバナーはじめ地区役員の皆様には厚く御礼申し上げると共に、ご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



2018. 10月 シチメンソウ清掃様子



2019. 9. 17 公式訪問例会時集合写真



伊万里RC 9月18日(水)

会長 峯 輝正 幹事 植田 雅典

千葉憲哉ガバナー・辻幸徳ガバナー補佐・大石竜基地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を開催致しました。

・例会前の懇談会での話題

1) ガバナー：クラブの現況と活動報告書の中で活動報告が毎月細かく報告されており、年間の活動状況が手にとるようにわかり、「素晴らしい」、これは幹事さんが書かれたのですか。

クラブ：いいえ、事務局が「伊万里ロータリークラブ週報」をまとめてくれて

います。

2) ガバナー：ある区域でライオンズクラブが4クラブあり、ロータリークラブが1クラブあります。この現状をどう思いますか。ロータリーの目的である、「奉仕の理念」を広報する必要があると思いますが、このことは卓話でも触れます。

クラブ：会員増強については、当クラブの課題でもあります。ただ、会費会員ではなく、会員の親睦を深め、例会には努めて出席してもらい、ロータリアンとは「何か」を学んでいくようなクラブにしたい。

3) ガバナー：アンケート調査結果でクラブに受け入れられていないが1名、アンケート不参加が6名(20%)います。これらの人は退会予備軍であり、後ろ向き会員と考えられます。

クラブ：アンケートについては初めてのことであり、例会時の短い時間で回答しており、このアンケートの重要性を感じていた会員は少なく、クラブに受け入れられないと回答したのは冗談ではないかと受け止めています。クラブ活動の現況からみて、そのような人は見当たらないので、今後の活動状況、アンケート調査を通じてクラブ運営を図っていき

4) ガバナー：「市内小学校交流かるた大会：社会奉仕委員会」・「青少年剣道：青少年奉仕委員会」と活動を行っていますが、地区補助金のプロジェクトがあるのをご存じですか。

クラブ：補助金を活用できるように、2月開催予定の補助金管理セミナーへ参加したいと思います。

・ガバナーの卓話

奉仕の理念はService above self (利己利他の調和) を基とし職業奉仕を行う。有償でほかの人にできない良質な仕事をする。その利益によって社会に奉仕する。ただ単に社会に奉仕するのではなく、良質な仕事をするために職業倫理を含め、自己研鑽と実践に努めなければならない。

改めて、ロータリアンとは何かを学びました。ガバナーの想いがロータリアンの心に響くことを祈念いたします。

・例会後の楽焼

公式訪問例会終了後、千葉ガバナーと辻ガバナー補佐に楽焼を書いてもらいました。



千葉ガバナーの楽焼



## ガバナー公式訪問クラブ報告



**佐賀北RC** 9月25日(水)

会長 立石 泰彦 幹事 原口 勉

令和元年9月25日(水)、千葉憲哉ガバナー、大石竜基地区幹事、山崎唯之第2グループガバナー補佐が当クラブへ公式訪問されました。

例会では千葉憲哉ガバナーより本来のロータリアンの在り方、変化に対応していくこと等多くを学びました。

また、アンケート結果に対する改善事項の報告があり、本年度、改善出来る様当クラブも頑張りたいと思います。

当クラブでは今年50周年を迎える事となりました。当クラブではどん3の森への植樹、又、耕作放棄地を有効活用し土地の耕し～そばの種まき～栽培～乾燥～脱穀～製粉～そば打ちをして、老健施設の利用者への寄贈などの社会奉仕を行ってきました。

本年度50周年記念事業をするにあたって、一部の施設ではなく出来るだけ多くの佐賀市民の皆様へ寄与出来る事はないかと考えました。

そして佐賀市役所の方と協議したところ、佐賀駅バスセンターの大型サイネージはどうかということになり、55インチのマルチモニターサイネージを寄贈する事となりました。

運営をどうするか、何を映し出すかなど佐賀市役所の方と長い時間をかけて何度も協議を重ねました。

昨今、海外からの観光客も多いのでまずは佐賀の観光スポットなどを主体に災害時の情報などを流す予定です。

情報に関しては色んなカテゴリーがありキャパシティーは無限大ですので、このサイネージがロータリークラブのPRも含め、地域に貢献していく事でこの50周年事業の意義を歴史の一ページとして残せませう事を祈念しております。今後も60周年100周年と歴史を重ねていくうえで当クラブのロータリアンの成長及び地域貢献をしていきたいと思ひます。



**長崎RC** 9月26日(木)

会長 光安 幸夫 幹事 藤岡 良規

千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催しました。

千葉ガバナーより「長崎RCは旧知の先輩も多く、今回の公式訪問の中での大きな山である」とのご発言がありました。和やかな中で本年度会長幹事、次年度会長幹事との例会前の懇談も終了し、例会内では千葉ガバナーによる「クラブ内アンケート調査の再トライ」などのお話を頂き、最後は当クラブ田口パストガバナーと固い握手をされ、滞りなく例会終了となりました。

さて、当クラブの長い歴史の中で継続的且つ積極的に取り組んできた事業の1つとして「青少年奉仕」の活動が挙げられます。国際青少年交換事業においては、友好クラブである米国セントポールRCとの留学生交換を1966年よりほぼ休止することなく継続的に実施しております。また当クラブはインターアクト、ローターアクトの両方を提唱している数少ないクラブであり、その活動内容も担当のロータリアンが極めて熱心に支援しています。昨今ローターアクトクラブは年々提唱クラブが減少しており、会員数も激減するなどの危機的事態に陥っておりますが、当クラブ提唱の長崎ローターアクトクラブは15名の会員で充実した活動をしております。当クラブがホストを務めさせて頂く、来年2月開催予定の9、10グループのインターシティミーティングではロータリーの青少年奉仕の重要性をテーマに開催予定で鋭意準備中です。



## ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀RC 10月3日(木)

会長 山下 雄司 幹事 益田 裕司

10月3日に千葉ガバナーの公式訪問は、2740地区最後から2番目に無事開催することが出来ました。

私達は、1985年よりクラブ独自で公益信託佐賀ロータリークラブ奨学基金を設立し、佐賀市内の高校に在籍する、人格・学業共に優れ、これからの社会を担う人材育成の為にこれまでに153名の学生に奨学金を授与して参りました。今後もこの活動を続けていきたいと考えております。

また、千葉ガバナーよりご指摘を受けました会員の満足度を上げることに関しましては、卓話を充実させる工夫を考えております。最近では、提唱IACの佐賀清和高校IAC元会長で現在長崎国際大学RAC会長の三原千明さんに「人との出会い」というテーマで、IACに入ったきっかけから年次大会を担当した時の苦労話、RACへつながったことや人との繋がりを話してもらいました。特にやって失敗するより、何もやらない事の方が大きな失敗だということは、当日参加してくれた現役佐賀清和高校IACの部員はもとよりロータリアンの心にも響いたものでした。今後も例会を充実させるよういろいろと工夫をしていきたいと考えております。

さらに今年度は全国RYLA研究会を佐賀で初めて開催することとなっております。

現在クラブ内実行委員会で準備を進めているところですが、来年2月9日成功させる為2740地区の皆様のご協力をお願いします。



諫早北RC 10月3日(木)

会長 田島 幸一 幹事 東村 久儀

令和元年10月3日18:30よりL&Lホテルセンリュウにおいて、第2740地区ガバナー千葉憲哉様、第8グループガバナー補佐栄田元信様、地区幹事大石竜基様、ビジターとして第7グループガバナー補佐比良孝蔵様、大村北RC麻生康友様を迎えて、地区56クラブの最後を飾るガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立っては、会長、幹事と懇談していただき、55クラブを回られた感想や今後の問題点などをご指摘いただき、大変参考になりました。

例会卓話においては、ロータリーの原点に始まり、「奉仕の理念：親睦・奉仕」、「職業奉仕」についてわかりやすく説明され、理解を深めることができました。

加えて、第2740地区「地区方針・戦略」の計画の8つの方針を具体的に述べられ、地区大会に向けて気の締まる思いを再確認しました。

千葉ガバナー、大石地区幹事におかれましては、7月16日の北松浦RCをスタートに、56クラブをめぐる地区ガバナー公式訪問、大変お疲れ様でした。





2019年9月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	70.8	74	5	73	5	1	2	-1	-1
	小城	4	67.7	30	2	31	3	0	0	0	1
	牛津	4	79.8	30	0	34	1	0	0	0	4
	多久	4	75.7	38	5	37	4	0	1	-1	-1
	佐賀大和	4	70.2	26	6	26	6	0	0	0	0
	小計		72.8	198	18	201	19	1	3	-2	3
第2グループ	佐賀西	3	81.4	38	2	42	3	4	0	4	4
	佐賀北	3	74.2	45	1	46	2	0	0	0	1
	佐賀南	4	81.6	38	4	41	4	0	0	0	3
	神埼	4	79.7	37	4	37	4	0	0	0	0
	佐賀空港	3	77.8	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		78.9	176	12	184	14	4	0	4	8
第3グループ	有田	3	74.5	28	0	30	1	0	0	0	2
	武雄	3	87.5	56	5	56	5	0	0	0	0
	鹿島	4	89.1	34	4	33	4	0	0	0	-1
	嬉野	4	82.6	26	2	26	2	0	0	0	0
	大町	0	0.0	11	0	15	0	0	0	0	4
	太良	4	100.0	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		86.7	165	11	170	12	0	0	0	5
第4グループ	唐津	4	91.1	61	0	62	0	0	0	0	1
	伊万里	4	91.4	29	0	29	0	0	0	0	0
	唐津東	4	87.4	50	0	51	0	1	0	1	1
	唐津西	4	88.9	34	0	35	0	0	0	0	1
	伊万里西	3	95.5	41	0	41	0	0	1	-1	0
	唐津中央	4	86.6	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		90.1	252	3	256	4	1	1	0	4
第5グループ	佐世保	4	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1
	平戸	4	70.8	29	2	29	2	0	0	0	0
	北松浦	4	91.5	25	0	25	0	0	0	0	0
	佐世保西	4	79.9	24	4	24	3	0	0	0	0
	松浦	4	85.7	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		85.6	182	7	185	6	0	0	0	3
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	62	0	0	0	0	0
	佐世保東	4	79.1	23	0	24	0	0	0	0	1
	佐世保北	3	100.0	40	2	40	2	0	0	0	0
	佐世保中央	4	85.5	46	1	47	1	0	0	0	1
	佐世保東南	4	68.8	39	0	40	0	0	0	0	1
	HTB佐世保	4	80.2	23	2	23	2	1	1	0	0
小計		85.6	233	5	236	5	1	1	0	3	
第7グループ	大村	4	91.0	48	4	49	4	0	0	0	1
	島原	4	81.7	30	2	31	2	1	0	1	1
	雲仙	4	82.9	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	4	91.5	24	1	25	1	0	1	-1	1
	島原南	4	70.2	25	0	25	1	0	0	0	0
	大村東	3	94.4	37	3	38	4	1	0	1	1
小計		85.3	178	10	182	12	2	1	1	4	
第8グループ	諫早	4	87.1	72	0	75	0	0	0	0	3
	諫早北	4	78.2	74	4	74	4	0	0	0	0
	諫早西	4	96.5	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	87.1	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	2	80.0	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		85.8	237	12	243	13	0	0	0	6
第9グループ	長崎	4	84.1	74	0	73	0	0	0	0	-1
	福江	4	82.0	33	0	35	0	0	0	0	2
	長崎北東	4	77.6	41	3	41	2	0	0	0	0
	福江中央	3	83.9	21	0	21	0	0	0	0	0
	長崎西	3	78.1	43	1	44	1	0	0	0	1
	長崎琴海	3	67.7	11	0	11	0	0	0	0	0
小計		78.9	223	4	225	3	0	0	0	2	
第10グループ	長崎北	3	81.2	80	0	79	0	2	1	1	-1
	長崎南	4	81.3	72	0	73	0	0	0	0	1
	長崎東	4	71.2	40	2	43	2	3	0	3	3
	長崎みなと	3	82.8	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	3	94.5	55	0	55	0	1	1	0	0
	長崎出島	4	72.9	71	12	71	12	0	1	-1	0
小計		80.6	348	15	351	15	6	3	3	3	
56クラブ合計		83.0	2,192	97	2,233	103	15	9	6	41	

\*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年9月末までの増減です。

\*大町RCは9月の例会を「災害復旧のため休会」としました。



## 新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりましたの方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀RC  
猪野 雄介 君  
野村證券株佐賀支店  
支店長



唐津東RC  
宮島 治 君  
宮島醤油株  
常務取締役 経営企画室室長



HTB佐世保RC  
柚木 達矢 君  
ハウステンボス株  
営業部長



島原RC  
柴田 松広 君  
株日進開発  
専務取締役



大村東RC  
石橋由美子 君  
スナック 森羅  
代表



長崎北RC  
野田 賢司 君  
株長崎ユタカ  
代表取締役



長崎北RC  
脇山 信人 君  
長崎自動車株  
取締役自動車本部長



長崎東RC  
板坂 光剛 君  
株シンエイ  
代表取締役



長崎東RC  
宮崎 豊 君  
宮崎豊土地家屋調査士事務所  
代表者



長崎東RC  
植木 博路 君  
弁護士法人 ALAW & GOODLOOP  
代表社員



長崎中央RC  
大塚 道隆 君  
西部通信工業株  
代表取締役社長



## 寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種類	氏名	クラブ名
メジャードナー	石坂和彦	大村
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	藤永辰弘	佐世保南
	橋場邦武	長崎
	浜中洋	長崎北東

米山記念奨学会		
種類	氏名	クラブ名
米山功労者 マルチプル	駒井英基	佐賀南
	古川尋美	佐賀南
	江副了	佐賀南
	園田嘉生	佐賀南
	宇土義継	佐世保南
	岩永正人	長崎
米山功労者	嘉村幸彦	佐賀南

## 文庫通信 [379]

ロータリー文庫通信379号 2019年10月 記念講演

「ロータリーの基本」とは？これまで多くの先達が語ってきた。今回、このことを考えさせてくれるロータリーの地区大会やIMでの記念講演をいくつか選ばせていただいた。特に、ビチャイ・ラタクル元RI会長は日本のいくつもの地区で多くの感動的な講演を残されている。その中でも、国際ロータリーのあり方に大きな変化をもたらした2016年の規定審議会直後の青森での講演は、ロータリーの基本とロータリアンのあるべき姿を分かりやすく語りかけてくれた忘れえぬ講演である。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
“Back to Basics” ロータリーの基本に返ろう	ビチャイ・ラタクル D.2830西第1グループ I.M.	2015	45P	※
他人の金で奉仕をするという虚構	佐藤千壽 PG 遺稿 (D.2790土屋亮平 PG 代読) D.2760地区大会	2008	9P	※
ロータリアンの矜持	藤川享胤 D.2590地区大会	2017	8P	※
Rotary—かえりみて、あすを考える	久野薫 D.2630地区大会	2017	16P	※
奉仕の心	阿部志郎 D.2780地区大会	2001	7P	※
日本人とロータリー	前原勝樹 D.261地区大会	1979	11P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

## 2020年 ハワイ・ホノルル国際大会のご案内

地区R I 国際大会推進委員会 委員長 吉田 英雄 (諫早北RC)

2019-2020年度 第111回国際ロータリー年次大会が、2020年6月6日(土)から6月10日(水)までの5日間アメリカ合衆国ハワイ州のホノルル市にて盛大に開催されます。

昔も今も日本人の憧れの地、そして癒しのリゾート地「ハワイ」での国際大会に参加してみませんか。ロータリークラブ会員やご家族をお誘いあわせの上、多くの皆様方のご参加をお待ちしております。



- 大会登録：国際大会の登録に関しては、各自にてご登録をお願い致します。登録方法は、「ロータリー国際大会」のホームページをご参照下さい。<https://www.riconvention.org/ja/honolulu>  
国際大会登録料（アメリカ\$税金込み）※早期登録で割引料金を！

例 会員 \$450 (12月15日迄)・\$550 (3月31日迄)・\$650 (4月1日以降)

※地区ナイトを計画しております。ご参加お待ちしております。

JICA海外協力隊

マダガスカル通信

Vol.6



発行/2019年10月31日 発行者/酒井 貴子(2018-2019年度 ローターリー財団奨学生)

マダガスカル全国放映の料理番組に出演！

9月から10月にかけては、色々な研修や日本への一時帰国など、移動ばかりしていた期間でした。そんな中、10月の一大イベントは、マダガスカル全国放送のテレビで料理番組に出演するというものでした。来マダ約半年というマダガスカル語初心者にとっての大役！一生懸命準備して臨んでみたのですが…。

マダガスカルで料理番組へ出演！

マダガスカルでは子供の栄養不良が大きな問題となっており、特に5歳以下の子供の50%近くが慢性的な栄養失調であると言われています。実際に農村の2歳以下の子供の食事調査をした際も、コメや揚げ物などの小麦粉、油の消費がかなり多い一方で、野菜や肉、乳製品などをほとんど摂っていない家庭が見られました。そんな中で、マダガスカルの協力隊員の多くが栄養改善に取り組んでおり、そのような隊員で構成された「料理分科会」というコミュニティで情報交換を行っています。

今回、「料理分科会」では栄養のあるレシピをより多くの人に知ってもらうために全国放送のテレビで放映する料理番組を製作しました。以前にも先輩隊員がこのようなテレビ番組を製作していたのですが、今回は看護師さんなどの保健隊員が離乳食を紹介するなど、2歳以下の子供の栄養摂取によりフォーカスしたものとなりました。

今回紹介したレシピは以下のものです。

- (1) ピザ (2) ニンジンケーキ (3) 蒸しパン\*
- (4) 牛乳スープ (5) ピクルス (6) おからハンバーグ\*
- (7) プリン (8) 肉まん (9) パン粥\*
- (10) お好み焼き

\*は離乳食

撮影はマダガスカルの番組制作会社によって行われました。首都にあるスタジオに本格的な料理番組用のセットが設営されており、マダガスカル人のプロデューサーやカメラマンなどのプロに囲まれての撮影となりました。

今回の撮影で面白かったのは、アシスタントとして実際に一緒に活動している方を招き一緒にテレビ出演したことです。私はまだ農村での調理講習会などの経験がなかったのでJICA事務所のスタッフの方と行いましたが、先輩隊員は農村で一緒に栄養改善を行っている方と一緒に出演していました。彼らにとってもこのような機会はもちろん人生初で、緊張しながらも楽しんでた姿が印象的でした。農村で実際に生活し働いている人々が出演することで、視聴者がレシピをより身近なものとして感じてくれると良いなと思います。



撮影の様子。プロの方々に囲まれて撮影を行いました。



カメラの前は照明と左にあるままの熱でも暑かったです。

私の担当レシピはニンジンケーキでした。撮影では調理のポイント毎に撮影するため、あらかじめ完成品を用意し、材料を切っておくなど、撮影の前の準備が多かったです。また、私のマダガスカル語がまだ十分うまくなかったことに加え、カメラ前でとても

緊張してしまったこと、さらに失敗しないようにと調理に意識が向かいすぎてしまったことで、最後の方はアシスタントの方のマダガスカル語での質問がうまく理解できなくなってしまいました。しかし一緒に撮影を行った先輩隊員が助けてくださり、何とか撮影を終えることができました。テレビ放映は11月とのことですが、何とかうまく編集してくれることを祈るばかりです(笑)。



1週間の首都滞在は…

今回の撮影では一週間首都に滞在しました。首都には任地には絶対におしゃれなカフェやレストランなどがたくさんあり、久しぶりにフランス料理やおいしいケーキを楽しみました。しかし、首都に上がると、いつもなぜかお腹を壊してしまいます。任地の方が道端で作られたお腹を壊しそうなものを食べているのに…。首都ではきれいなスーパーやレストランで食品を購入しますが、もしかしら衛生状態は田舎よりも悪いのかもしれない。



任地では絶対に食べられないおいしいチーズケーキ。

アンタナナリボ大学で文化交流

10月は私の同期でアンタナナリボ大学で日本語教師をしている高村さんの日本文化の授業に参加させていただきました。日本語学科の1年生でしたが、すでにとても日本語が上手で、驚きました。授業では日本語の動物鳴き声クイズを行い、とても盛り上がりました。遠く離れたマダガスカルでこんなにたくさんの人が日本に興味を持ってくださっていると喜びを感じたひと時でした。



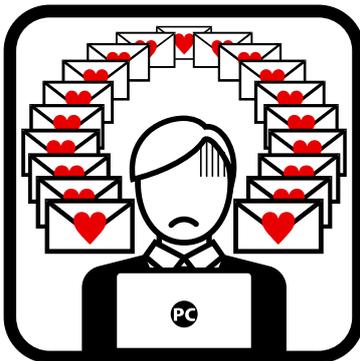
あなたは大丈夫ですか？

それもセクハラですよ！！

**STOP**

その行為をセクシャルハラスメントどうかを決めるのはあなたではありません。  
無意識にしているあんなことこんなことが冗談で済まされない場合があります。  
相手に配慮した言動を心掛けましょう。

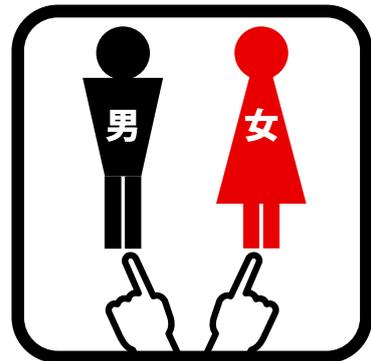
一方的なメール攻勢



噂話や性的冗談



性別で決めつけない



しつこい誘い



スキンシップ



熱視線



ロータリアンはセクハラと受け止められる行動・言動をしないことを宣言します。

Rotary  
第2660地区



## 芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

### 廣津 雲仙（書道家）

芸術文化の分野において、書は絵画や詩歌、小説などと比較し決して万人に馴染深いものではない。日常接している文字を題材にしているものの、その作品には容易に近寄りがたい一種の風格のようなものが備わっているからであるか。とは言え、墨汁をたっぷり蓄えた毛筆でもって、一気に書き上げられ均整がとれて見る者を圧倒するものでも、どこかに優しさや懐かしさを秘めているものである。

諫早市高来町の出身である廣津氏は書道研究「墨滴会」の初代会長として、後進の指導に当たられるなど日本書道界の重鎮の座にあられた。日展審査員や中京大教授を歴任され、書道発展への貢献は県文化功労者表彰が何よりの証であろう。

雲仙や諫早湾を望む高来町のふれあい会館には、氏の書碑が建立されており、活動の拠点や異郷の地に移しても、心は忘れることなくふるさとに向けられていた。郷土への温情が「愛」となって、ここに刻印されている。毎年九月には、「尾花忌」が開催され、諫早市芸術文化連盟が顕彰委員会と共に氏の功績を讃えている。



廣津雲仙書碑

### 編集後記

先日は第2740地区の地区大会に、初めて運営する側として参加させていただき、準備の大変さと、ロータリアンの方々の行動力の凄さと、大会成功へ向けた情熱を感じることが出来ました。この経験を今後の活動に活かしていきたいと思えます。IACの募金活動への多大なるご協力にも感謝いたします。

(川崎)